

「SDGs から考える地球の持続可能性と私たち」

年 組 番 氏名

【0、本時の目標】

SDGs を入口に持続可能性に関心を持ち、自分自身の考え方を見つめ直そうとしている。この学習で深まったことや変わったことを表現し、振り返る準備ができる。

【1、導入の問い】

Q、これまでの人生や生活で大切にしてきたものは何か？

【2、SDGs とは】

Q、SDGs の目的・内容・価値は、どのようなものか？



◎途上国だけではなく、先進国もともに考え、達成すべき目標！これらの目標を入口にして、持続可能性について考えてみよう！（気になる目標と他の目標のつながりを考えてみよう）

【3、持続可能性を妨げる課題】

Q、次の「生命の持続可能性を脅かすもの」（成田作成）から気になるものを選んで、その理由も考えよう。

① 地震・津波・竜巻などの自然災害等
② 地球温暖化をはじめとする環境破壊・公害等
③ 戦争・紛争・テロ、生物化学兵器・対人地雷・不発弾・核兵器等
④ 原子力・石油・石炭・水力・太陽光・風力等エネルギー及び資源の枯渇、原発事故等
⑤ 人種・民族、性の違いと多様性・LGBT、障がいなどによる差別・偏見等
⑥ 途上国・先進国間、各途上国・先進国内の経済格差の拡大・貧困等
⑦ HIV・エイズ、鳥インフルエンザなど感染症・疾病等
⑧ 生命を維持させるはずの食・食糧、心身をむしばむ薬品・薬物等
⑨ 世界遺産・地域遺産の保護と破壊等
⑩ 信仰・宗教の布教と対立等
⑪ ICT 環境、PC・インターネット・携帯電話・SNS 等
⑫ 地域や学校などを舞台に起こる犯罪・事件等
⑬ 学校や家庭などで起こるいじめ・虐待・体罰等
⑭ 地球人口の爆発／わが国の超高齢・人口減少社会の進展等

成田喜一郎（2013）「ESD カリキュラム及び授業デザインの理論と方法—カリキュラム開発の方法を探究する—」『東京学芸大学教職大学院年報』第2集、p1-15 を参考に改変

<選択した課題>

--

<選択した理由>

--

【4、展示の見方（視点・内容・データなど）】

「人間の安全保障」の展示を見学することは、途上国の現状を把握するだけではなく、先進国に生きる私たちに必要なものを気づかせてくれるきっかけとなる。自分自身の生き方への深まりや変容のきっかけにしよう。その根拠となるものがたくさんある。それをたくさん探してみよう。

<見学のポイント>

○ブースごとに5W1H に注目して記録する：ブースごとの展示の意図を考えよう。そのポイントは、when/where/who/what/why/how である。これらをできるだけたくさん探してみよう。

○必要な解説文を要約する：途上国の現状を把握するための事実を解説文から読み取り、要約することで、自分の考えの根拠にしてみよう。

○表やグラフなどの数値のデータにも着目する：他者に自分の考えを伝えるためには、表やグラフなどの数値も有効である。そのようなデータにも着目して、必要だと考えられるものを展示の中から読み取ってみよう。